

平成25年度 第1回公立大学法人鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成25年5月2日（木） 14:00～16:10
- 場 所 鳥取環境大学 大会議室（本部講義棟3階）
- 出席者 古澤巖理事長、河原正彦副理事長、田中洋介理事、道上正規理事、若原道昭理事、渡邊良人理事、清水昭允委員、林田英樹委員、山田憲典委員、吉田圭子委員 [10名/10名]

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり了承。

2 報告事項

(1) 近況報告

事務局から資料に基づき在籍者の状況、入試実施状況等大学の近況について報告があった。

3 審議事項

(1) 平成25年度補正予算（第1回）について

事務局から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

また、事務局より、補正予算の計上については、額の大きなもの、新規の案件などとし、具体的な方針を今後検討するとの説明がなされた。

委員による主な意見等は次のとおり。（○:質問・意見、→:回答 以下同様）

○国際交流員は次年度以降も継続されるのか。

→設置者から大学の国際化を求められているが体制が整っていない。今年度国際交流室を作ったが専任の職員がおらず兼務で体制を整えた。今年度は県の緊急雇用事業を活用できたので中国語、韓国語、英語のできる人を1年の任期で公募している。26年度以降は国際交流センターの組織整備を設置者に依頼して専任教員、事務職員の定数増の要求をしたい。今年は暫定的に緊急雇用で対応する。

○環境学部の1,2年生の研究室用の予算が計上されているが、経営学部の学生が集う場所は確保されているか。

→確保されている。1,2年制は大部屋の研究室。3,4年制は各ゼミ室となっている。

(2) 公立大学法人鳥取環境大学職員給与規程の一部改正について

事務局から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 その他

副理事長より、経営審議会、教育研究審議会の学外委員と大学幹部との公立化1年を踏まえての意見交換会を6月12日（水）実施することが提案され、了承された。